# 製品安全データシート

会社名　　神戸合成株式会社
住　所　　兵庫県小野市匠台１０番地
担当部門　品質保証本部
担当者名（作成者）　木谷　安生
電話番号　0794-64-7771　FAX番号　0794-64-7772
作成　２００６年　５月２９日
改訂　　年　　月　　日

【製品名(化学名、商品名等)】　ソリッド車用　Ｓコート(原液)

【物質の特定】
単一製品・混合物の区別：　混合製品

| 物質名 | 含有率 | ＣＡＳ№ |
|---|---|---|
| シロキサン系架橋性樹脂 | 0.5%～5% | 非公開 |
| イソプロピルアルコール | 95.0～99.5% | ６７－６３－０ |

国連分類：クラス３（引火性液体類）
国連番号：１２６３（塗料または塗料関連物）

【危険・有害性の分類】
分類の名称：引火性物質、急性毒性物質、労働安全衛生法第２種有機溶剤に該当
健康への有害性　：吸入飲用不可、誤飲や蒸気・ミストの吸入は有害の恐れがある
刺激性がある。
物理的・化学的危険性　：消防法危険物第４類第１石油類（水溶性）に該当する。
蒸気は空気と爆発性の混合気体を形成する恐れがある。
強酸化剤との混合・接触により発火の危険性がある。
環境影響　：知見なし

【応急措置】
皮膚に付いた場合：汚染した衣服を脱ぎ、触れた部位を多量の水で洗い流す。もし、皮膚に炎症を生じた時は、医師の手当てを受ける。
眼に入った場合　：直ちに流水で１５分以上洗眼し、医師の手当てを受ける。
吸入した場合　：患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、速やかに医師の手当てを受ける。呼吸が停止している場合には人工呼吸を行い、呼吸困難な場合には酸素吸入を行う。
誤飲した場合　：無理に吐かせず、嘔吐物は飲み込ませない。
出来るだけ早く医師の手当てを受ける。

【火災時の措置】
消火方法：火元への燃焼源を断ち、適切な保護具を着用し、消火剤を使用して消火する。
大規模火災には泡消火剤を用いて、空気を遮断する。
消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。
水は消火には用いない。
消火剤　：粉末、二酸化炭素、アルコホーム、乾燥砂、等

【漏出時の措置】
・風下の人を退避させる。漏洩した場所の周辺へは、関係者以外の立ち入りを禁止する。
付近の着火源となるものを速やかに取り除く。風上から作業をする。
漏出物が肌に付着したり、蒸気やミストを吸引しないように適切な保護具を着用する。
・少量の場合は、乾燥砂等に吸着させて密閉できる空容器に回収する。
・大量の場合は、漏洩した液は土砂等で流出を止め、安全な場所に導いた後乾燥砂等に吸収させてから、密封出来る空容器に回収する。漏出液が河川や下水等に排出されないよう注意する。
・付着物、廃棄物等は関係法規に基づいて処理して下さい。
・衝撃、静電気で火花が発生しない用具を用いて回収する。
・回収した容器は安全な場所に移す。

【取扱い及び保管上の注意】
取り扱い：・吸い込んだり、眼、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
・できるだけ風上で作業し、必要に応じ防毒マスクを使用する。
・蒸気の発散をできるだけ抑え、換気の良い状態で作業し、容器は都度密閉する。

・密閉空間での作業には十分な局所排気装置をつけて使用する。
・漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
・引火性があるので、高温物、スパーク、火気等を避け、強酸化剤との接触を避ける。
・静電気対策を行い、作業衣、作業靴は導電性のものを用いる。
・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な取扱いをしない。
使用済みの空容器は一定の場所を定めて集積する。
・使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。
・取り扱い後は顔や手を良く洗う。

保管　：・容器は直射日光を避け、冷暗所に貯蔵し、密閉して、空気との接触を避ける。
・火気やボイラー等熱源付近や可燃物の近くに置かない。
・酸化性物質、有機過酸化物などと同一場所に置かない。
・その他、労働安全衛生法、消防法などの法令に定めるところに従う。

---

【暴露防止措置】

| 物質名称 | 管理濃度 (2005) | 日本産業衛生学会 (2003) | ＡＣＧＩＨ (2003) |
|---|---|---|---|
| イソプロピルアルコール | 200ppm | 400ppm | ＴＷＡ200ppm<br>ＳＴＥＬ400PPM |

設備対策：取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備、局排設備を設ける。
保護具　：状況に応じ、有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器、安全眼鏡、ゴーグル、耐溶剤性手袋、保護長靴、不浸透性前掛け等を使用する。

---

【物理／化学的性質】
外観　：淡黄色透明液体　　臭気　：アルコール系の溶剤臭
比重　：０．７５～０．８５　沸点　：８２℃(溶剤より推定)
溶解度：水に可溶　　融点　：－８９℃　(イソプロピルアルコールとして)

---

【危険性情報(安定性･反応性)】
引火点　　：１２℃　発火点：４６０℃（イソプロピルアルコールとして）
爆発範囲　：下限；2.0%　　上限；　１２．７%
安定性・反応性：　通常条件下で安定（高温時を除く）
強酸や強ｱﾙｶﾘと混合すると、発熱や爆発の危険性がある。

---

【有害性情報】
急性毒性：ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾙｺｰﾙ　LD50(ﾗｯﾄ)=5840mg/kg
刺激性　：ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾙｺｰﾙ　蒸気を吸入すると麻酔性、粘膜刺激性があり、血圧低下を起こす。
目に入ると、角膜を犯し、視力障害を起こすことがある。
皮膚に接触すると、湿疹等の皮膚炎を起こすことがある。
慢性毒性：ﾃﾞｰﾀなし
発がん性：ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾙｺｰﾙ　ＬＡＲＣ評価３；（人に対して発癌性を評価できない）
変異原生：
（染色体異常）ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾙｺｰﾙ　（ラット生体内、吸入）；陽性
催奇形性：データなし
生殖毒性：データなし
その他：　データなし

---

【環境影響情報】
魚毒性：ｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾙｺｰﾙ　LC(96hr)Fathead minnow=10400mg/l
LC50(金魚)=9280mg/L
分解性：容易に生分解する
生態蓄積性：データなし

---

【廃棄上の注意】
・廃液、廃容器などの廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
・容器、機器装置などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
・排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規にしたがって処理を行うか、委託すること。

【輸送上の注意】
・運搬に際しては容器に漏れもないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
陸上輸送：消防法、労安法に定める所に従うこと
海上輸送：船舶安全法に定める所に従うこと
航空輸送：航空法に定める所に従うこと

【適用法令】
消防法　　：危険物第４類第１石油類（水溶性液体）危険等級Ⅱ
労働安全衛生法：有機溶剤中毒予防規則；（対象物質としてｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾙｺｰﾙを含む）
第２種有機溶剤(対象物質としてｲｿﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾙｺｰﾙを含む)
危険物；引火性のもの
施工例別表第９；名称通知物質含有（イソプロピルアルコール）

ＰＲＴＲ法：非該当

【その他】
引用文献　１）毒劇物基準関係通知集　改訂増補版　厚生省薬務局安全監修薬務公報社(1991)
２）国際化学物質安全性カード（ＩＣＳＣ）日本語版　化学工業日報社(1992)
３）１４５０４の化学商品　化学工業日報社(2004)
４）溶剤ハンドブック　講談社(1994)
５）原料ＭＳＤＳ
危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには充分注意して下さい。

# [会社情報]

販売者：(株)スズキ自販中部
所在地：愛知県名古屋市瑞穂区堀田通4-4
TEL:052-884-8011